

首都圏ミートパッカー輸出推進協が総会 役員改選では阿部代表理事ら全役員を再任

首都圏ミートパッカー輸出推進協議会(代表理事・阿部昌史=㈱ミート・コンパニオン代表取締役)はこのほど、第14回定期総会を開催。令和7年度事業報告や8年度事業計画(案)などを審議し、上程全議案が承認された。

また、任期満了に伴う役員選任では代表理事に阿部氏、副代表理事に原田知昌、齋藤義一の両氏、理事に音田敏彦、森島了、宮健一、河上貴一、柴原篤史、宮下義史、小原和也、山田彰男の各氏を再任した。さらに会計監査役には植井敏夫氏を再任した。8年度も販売促進活動のために専門家・海外バイヤーらを派遣・招へいして日本産畜産物の輸出拡大を図る。

阿部代表理事はあいさつで「昨今、食品全般にお

いて原材料価格や物流費などの上昇が続く等、食肉業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。消費者の購買動向や国内消費を取り巻く環境にも変化がみられ、国内外の需要動向を踏まえた対応が重要となっている」と指摘。「こうした状況の中、日本産牛肉、特に和牛については、海外における認知度や需要が着実に高まっており、輸出も引き続き伸びを示している。国内需要が伸び悩む中、海外市場での需要を取り込むことは、日本産牛肉の需要を支える上でも欠かせないものとなる」と説明。「今後も日本産牛肉の輸出をさらに推進するため、会員相互の情報共有や意見交換を通じて連携を深め、輸出の一層の拡大に向けて、皆さまと取り組んでまいりたい」と呼びかけた。